



マイクロモビリティハブに関する調査

近年、日本では特にレンタルスクーターや自転車などのシェア型車両の利用が大幅に増加しており、今後もさらに普及が進むと予想されています。

このような背景のもと、私たちはマイクロモビリティサービスの利用状況や、住宅のすぐ近くに設置されたステーションに対するご意見を把握するためのアンケート調査を実施しています。

京都大学とドイツ・ベルリン工科大学との共同研究の一環として、マイクロモビリティの利用頻度や利用時間を分析しております。特に、京都市民の居住環境におけるマイクロモビリティハブの認識および受容度を調査しております。得られた知見は、マイクロモビリティサービスの立地選定および配置の最適化に寄与することが期待されます。

この短いアンケートにご回答いただけますと大変ありがたく存じます。

結果はすべて学術研究目的のみに利用され、匿名で集計されます。約10分間のアンケートへのご参加は、地域住民のモビリティステーションに対する意識を把握し、シェアリングステーションの最適な統合を可能にするための重要な一助となります。

QRコードをスキャンしてアンケートを続行するか、次のリンクを使用してください：
<https://jonassite.limesurvey.net/999524?lang=ja>

ご参加いただきありがとうございます！

